

やさか じんじゃ
八坂神社



- ・岡田上 津森の小高い丘の上にある神社。
- ・境内は1505坪（約4970㎡）で、木造銅板葺の本殿と木造瓦葺の幣殿、拝殿がある。
- ・武国凝別皇子（タケクニコリワケノミコ）の第二皇子津守王がこの地に来て長者原の地を開いたが、当時、この地は山麓で野獣が出て農作物をひどく害したため、神社をつくって祀ったといわれている。
- ・古来、牛頭天皇とか、津守の宮と呼んでいたが、明治初年に八坂神社と改称し、村社に格付けされた。